

あの日のオルガン



イントロダクション

第二次世界大戦末期、東京都品川区戸越保育所の保母たちが幼い園児たちと集団で疎開し、東京大空襲の戦火を逃れた「疎開保育園」の実話を描く映画『あの日のオルガン』（2019年2月全国公開予定）。目の前を阻む幾多の困難をたくましく前向きに乗り越え、子どもの命を守った、知られざるヒロインたちの奮闘を描いた真実の物語です。



あらすじ

第二次世界大戦末期、警報が鳴っては防空壕に避難する生活が続く1944年、東京品川の戸越保育所では、保母たちが保育所の疎開を模索していた。まだ幼い園児たちを手放す不安、迫りくる空襲から子どもたちだけでも助けたい、と意見の分かれる親たちを保母たちが必死に説得する中、埼玉に受け入れ先の寺がみつかる。

荒れ寺での疎開生活をスタートした若い保母たちと幼い園児たちを待っていたのは、毎日わき出てくる問題との戦いの日々。それでも若き保母たちは子どもたちと向かい合い、毎日ひたむきに励ましあいながら奮闘していた。そんな彼女たちにも空襲の影がせまっていた。



特別先行試写会ご鑑賞整理券

全国保育問題研究協議会第35回夏季セミナーin東京の受付のとなりに
映画ご鑑賞整理券お渡しブースを設けます。こちらでお受取り下さい。

1 映画ご鑑賞整理券お渡しブース開設時間

8月25日(土)12:00～15:45

8月26日(日)9:00～13:00

ブースは夏季セミナー開催会場(6号館)のみとなります。
試写会会場の大講堂では配布しませんので、
お手数ですが上記の時間内にお受取りください。

2 会場にご鑑賞券整理券をお出しになってご覧下さい

鑑賞券のない方は、ご覧になれません。

「あの日のオルガン」は、
2019年2月より全国主要都市での
映画館上映から全国公開を
スタートさせます。

2月からの映画館のみ有効の
前売券(1,100円)を会場で
販売致しますので、
ご協力いただければ幸いです。